



長崎
県立

島原特別支援学校

高等部

■学校の特色

本校高等部は、「健康 協力 自立」の校訓を掲げ、島原半島唯一の高等部として、平成17年度に開設しました。

島原半島全域から自家用車や鉄道、バス、徒歩、自転車で通学しています。校舎は、眉山を背に有明海を望むことができ、自然に囲まれた、落ち着いた環境にあります。



■教育課程

生徒の実態に合わせて、A1課程、A2課程、B課程、訪問教育の4つの教育課程があり、教科別の学習や作業学習（農業・木工・窯業・手工芸）、日常生活の指導、生活単元学習、総合的な探求の時間等を行っています。

■学部の努力目標

- (1) 各行事や実習などへの意欲的な参加を促し、達成感を味わわせることによって、身体面や精神面の育ちに気付かせながら、卒業後、生活したり働いたりするための心構えや身体づくりの支援に努める。
- (2) 「どう行動すべきか」について考える場面を意図的に設定することによって、礼節をわきまえた言動を増やし、思いやりのある仲間関係を構築させる指導に努める。
- (3) 個別の教育支援計画書を十分に活用し、教育（学校）と養育（家庭）の立場で協働しながら、発達段階に応じた「勤労観」と「職業観」の育成に努める。



【がまだすウォーク】

■学校行事・部活動

体育祭、宿泊学習（1年）、修学旅行（3年）、眉峰祭（高等部文化祭）、がまだすウォーク（20kmの鍛錬歩行）等の行事があり、それぞれの実態に応じて目標を立て取り組んでいます。

部活動は現在、陸上競技部、サッカー部、音楽部、美術部があります。

陸上競技部は、毎日放課後に練習に取り組み、障害者スポーツ大会を始め、高総体、特別支援学校陸上大会などへ出場しています。サッカー部は、毎日練習に励み、きらめきカップやもうひとつの高校選手権などへ出場しています。音楽部は、週3回活動し、地域の祭などで演奏をしています。美術部は、週3回活動し、長崎県高等学校美術展などに出品をしています。



長崎県立島原特別支援学校 高等部

〒855-0871 長崎県島原市南崩山町丁2800-3

TEL：0957-65-4161・4163

FAX：0957-65-4162

HP：<http://www2news.ed.jp/section/shimabara-ss/>

MAIL：shimabara-koutoubu@news.ed.jp

ACCESS

■島原鉄道 | 島原港駅下車 徒歩約30分

■島鉄バス | 中央高校前 徒歩約10分

■自動車 | 島原外港より約3分

■自動車 | がまだすロード島原外港 | C下車 約1分

